

議会だより ふだい



岩手県普代村議会

No. 176

令和8年7月30日発行

村民の皆さんと議会を結ぶ情報誌。一緒に考えよう、この村のカタチ。

一歩・一歩

大きな掛け声で目指せゴール！！



普代オリンピック2026
(小中合同運動会) 5月16日

主な内容

普代学園建設状況	2 p
定例会での質疑	3～4 p
定例会で決まった議案	4 p

浜の活力再生は（一般質問）	5～8 p
未来予想図・あとがき	10 p

普代学園、着々と工事進行中！



建築工事中の普代学園（校舎棟）



渡り廊下棟



屋内運動場棟

普代学園建設現場を視察

令和8年7月15日、議会と村は普代村立普代学園の建設現場の視察を行い、工事関係者から工事概要や進捗状況等の説明を受けました。

7月15日時点での建築工事の進捗状況は40%であり、工事は現在まで順調に進んでいるとのことでした。

6月17日開会の6月定例会では、補正予算や人事案件など11議案を審議しすべて可決しました。その中の質疑と答弁を抜粋してお知らせします。

一般会計補正予算

民生費

△保健と介護予防の一体的事業

需要費 46万円皆減
委託料 46万円増

質問 予算組み替えについて、詳細を伺う。

回答 事業周知のためのパンフレットの印刷費用を10節需用費に計上したが、業者への委託料を含めて一括での契約とするために予算の組み換えを行うもの。

農林水産業費

△新規作物栽培チャレンジ支援事業 10万円皆増

質問 事業内容について、詳しい説明を伺う。

回答 本事業は、ほうれんそうに次ぐ新たな高収益作物の栽培や地域ブランドの調査・研究のための経費に



対して助成を行うものであり、新たな品目の掘り起こしと集落の活性化に向けた取り組みに対して補助金を交付する。今回株式会社青の国から新規の申し込みがあり、ピーマンの栽培について支援するもの。

質問 栽培した作物を道の駅で販売するということか。

回答 ピーマンの栽培については試験的な段階のものであり、成功した際には販売にも取り組んでいく。また、本事業は農業者及び団体への補助事業であることから、現在農協に対し株式会社青の国の農業者としての登録手続きを行っている状況。



黒崎漁港（弁天地区）

△漁港施設維持修繕工事 550万円皆増

質問 ネダリ浜の漁港について、物揚げ場の消波ブロックを穴開き岸壁でなくすることで、大きな波が来ても壊されないようになるのでは。

回答 消波ブロックをコンクリート単塊式のものにするという提案については、当該漁港は補助事業で整備された漁港であり、補助金等に係る予算の執行の適正化に関する法律により制限がかかる可能性があることから、事業の経過年数を確認した上で検討していく。

商工費

△プレミアム付商品券補助金 150万円増

質問 商品券の販売時期について、7月上旬を予定しているとのことだが、年金受給者へ年金が支払われる偶数月に販売時期を変更できないか。

回答 今後、商工会と再度協議を行い、なるべくそのようにできるよう努力していく。

質問 昨年度は40%のプレミアム率であったが、今回30%の補助となった理由を伺う。

回答 今年度も40%の補助を実施したいと考えていたが、再度検討した結果、30%で実施することとした。

土木費

△エアコン設置支援補助事業 105万円増

質問 前年度から現在まで何件補助申請を受け付けたのか。

歳入

△不動産売却収入 60万円増

質問 土地の売却について、いつ、どのような目的で購入したものが経緯を伺う。

回答 当該財産は村営住宅の駐車場用地の確保を目的に令和5年9月に購入したもの。



回答 前年度では86件、今年度は現在までで20件分の申請を受け付けている。夏はさらに需要が高くなることから、今回20件分の増額補正を行うもの。

一般質問

ただ質す 村政を

次のページから
村の課題を熱く議論！

6月定例会の一般質問には、3人が登壇し、村の課題などに対し、
村当局の考えを問い質しました。

なか がみ かず と
中 上 一 登 議員

1. 関係人口創出による
地域活性化対策について
2. くろさき荘の在り方について

6 ページ

おお かみ さとし
大 上 智 議員

1. 「第6次総合発展計画」について

7 ページ

さい とう まさ あき
齊 藤 正 明 議員

1. 基金の運用状況と効率化について
2. 地方債の償還方式について
3. 今後の財政見通しについて

8 ページ

一般質問とは、本議会で議員が、執行機関である村長などに対し、村政全般に関する事務の状況や将来の方針などについて質すものです。

「一問一答方式」で行い、1人60分の制限時間内で質疑応答を行います。

一般質問は3月、6月、9月、12月の定例会に限り認められています。



人気返礼品のタコ

△ふるさと応援基金繰入金
449万円増

質問 ふるさと納税の寄付額が現在までの推移で昨年度比マイナス46・3%となっていたことについて、繰入金を充当している事業に対して影響はあるのか。

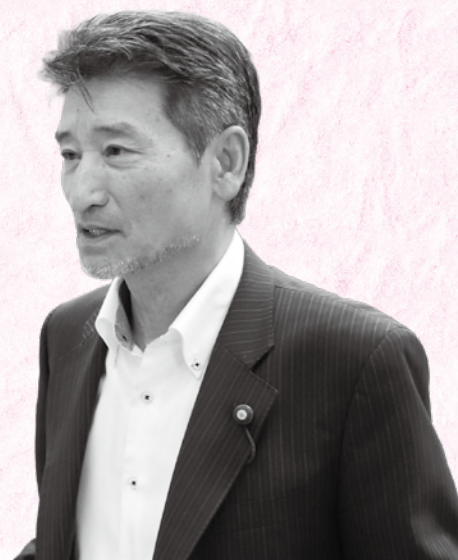
回答 寄付額については、満額繰入するのではなく、一定額を積み立てている。繰入金事業に対して影響のないよう、積み立て金も含めて充当できる金額を把握し、活用していく。

質問 今後納税額が減少していく懸念があるが、対策について考えはあるか。

回答 返礼品として魅力的な商品を作っていくと、現在村内業者と話している。今後、村のサービスに必要な財源であることから、維持に努めていく。

定例会で決まった議案

議案番号等	議 案 等	審議結果
議案第1号	令和8年度 普代村一般会計補正予算(第3号) 補正額1,407万4千円を追加し、歳入歳出予算の総額を55億9,517万1千円とする。 人事異動に伴う人件費の補正のほか、村道補修工事の工事請負費の増などが主なもの。	可 決 (全員賛成)
議案第2号	令和8年度 普代村休養施設事業特別会計補正予算(第1号) 補正額180万円を追加し、歳入歳出予算の総額を1億3,690万円とする。	
議案第3号	令和8年度 普代村下水道事業会計補正予算(第1号) 補正額21万7千円を追加し、歳入予算3,234万3千円、歳出予算3,414万3千円とする。	
議案第4号	普代村農業委員会委員の任命につき同意を求めること 任期満了に伴い、村尾ゆかり氏(堀内)の再任に関し同意を求める。 任命年月日は、令和8年7月20日から3年間。	同 意 (全員賛成)
議案第5号	普代村農業委員会委員の任命につき同意を求めること 任期満了に伴い、野崎才子氏(太田名部)の再任に関し同意を求める。	
議案第6号	普代村農業委員会委員の任命につき同意を求めること 任期満了に伴い、中村駿人氏(上区)の再任に関し同意を求める。	
議案第7号	普代村農業委員会委員の任命につき同意を求めること 任期満了に伴い、榎谷継男氏(太田名部)の再任に関し同意を求める。	
議案第8号	普代村農業委員会委員の任命につき同意を求めること 任期満了に伴い、中居昭彦氏(鳥居)の再任に関し同意を求める。	
議案第9号	普代村農業委員会委員の任命につき同意を求めること 現委員の任期満了に伴い、赤坂由也氏(白井)を新たに任命することに同意を求める。	
議案第10号	普代村農業委員会委員の任命につき同意を求めること 現委員の任期満了に伴い、佐々木英彦氏(萩牛)を新たに任命することに同意を求める。	
議案第11号	普代村固定資産評価審査委員会委員の選任につき同意を求めること 任期満了に伴い、小中居敏勝氏(堀内)の再任に関し同意を求める。 任命年月日は、令和8年7月1日から3年間。	-
報告第1号	令和7年度 普代村一般会計予算繰越明許費繰越計算書 義務教育学校整備事業など、合計14事業、総額10億277万2,466円を令和8年度へ繰越する。	
報告第2号	令和7年度 普代村一般会計予算事故繰越し繰越計算書 村道道路改良事業(村道沢山線道路改良工事)、3,126万2,600円を令和8年度へ繰越する。	



中上一登

「一般質問」市政と質す

関係人口創出による地域活性化対策は

村の魅力の定期的な情報発信を

榎屋村長

関係人口創出による地域活性化対策について

質問 ふだいファン会員制度の総括と課題認識を伺う。

質問

榎屋村長

会員数は紙媒体が58名、ウェブ会員が47名の計105名である。決して多くはないが、特別なPR活動や特典を設けていない現状で登録いただいている方々は、真に普代村に関心や応援の気持ちを持たれている方々であり、深く感謝している。

今後は、デジタル会員証の発行や定期的な情報発信、村内事業者と連携した来村時の特典の創設、また会員証の提示により会員の来村率や来村回数の把握ができるような仕組み作りを検討する。

質問 国のふるさと住民登録制度の導入について、村長の見解を伺う。

答弁 榎屋村長

特産品の購入やふるさと納税、観光リピーターなどの「ベシツク登録者」と、ボランティア活動や自治会活動への参画、二地域居住など地域の担い手確保に資する「プレミアム登録者」の2つが想定されている。デジタルツールの導入ではなく、ふるさと住民登録システムと現在のファン会員制度を合わせたような取り組みとなるよう進めていく。

質問 外部人材や、専門知識経験者の登用について伺う。

質問

榎屋村長

ふるさと住民コーディネーターなど外部専門人材の登用についても検討し取り組んでいく。

くろさき荘の在り方について

質問 過去に提案した廃止とする撤退基準の作成について、その後の検討経緯と、現時点で明

確な基準があるのか否かを伺う。

答弁 榎屋村長

村として明文化された撤退基準はないものと考えている。

質問 施政方針にある指定管理への移行にあたり、具体的にどのような民間業者や団体を想定されているのか。

答弁 榎屋村長

宿泊・飲食運営の経験をする民間法人事業者、地域振興や交流人口拡大に取り組み団体、あるいは公社、第三セクター等、公共性を担保し施設運営できる法人などが考えられる。

また、くろさき荘は、単なる宿泊営業にとどまらず、地域との連携や柔軟な企画運営が求められることから、民間等でのノウハウを活かしつつ、村づくりへの取り組みを共有できる事業者が望まれる。

質問 指定管理制度の導入によって、現



夏本番のくろさき荘

在の赤字補填額がどの程度削減され、収支がどう改善されるのか、試算や見込みを問う。

答弁 榎屋村長

直営より雇用面などでの柔軟性や、一定の経費削減効果は期待できる。また、民間の企画力・営業力・商品造成力を活用することで利用率の向上や収益改善も期待できる。指定管理の具体的な条件は想定していない。また、赤字がどの程度削減されるかなど具体的な数値の見通しについても把握していない。

「一般質問」市政と質す

浜の活力再生は新漁業形態創出を

漁業者参画によるプラン策定予定

大村建設水産課長

魅力的な産業のある村づくり

水産業振興

質問 令和9年度からの「第3期浜の活力再生プラン」策定は、漁業者・漁協・村等連携による再生委員会が協議され、現状打破を目的とした「新しい工夫による漁業形態創出」が必要不可欠では。

答弁 大村建設水産課長
漁業者にも参画してもらい、意見を吸い上げ本年度策定していく予定である。第2期の成果を踏まえ、見直し・検討し、具体的な事業等が記載される計画である。成果目標に沿って、それぞれ補助事業を起こすなどの部分で活用されるものとなる。

農業振興

質問 地域農業計画実践支援事業の概要は。

答弁 榎屋村長
牧草とほうれんそこの、栽培管理等機械の

導入支援事業である。

観光振興

質問 普代浜園地整備事業の概要は。

答弁 榎屋村長

来年度以降に、キラウミ公園の、全体的整備計画等々を含めての検討に取り組んでまいりたい。

質問 くろさき荘の、今後の在り方についての検討は。

答弁 榎屋村長
大規模改修、食堂厨房の新築等による大きな起債の償還が、令和9年度で終了することを踏まえた中で、今後の運営の仕方等、議会、村民、関係業界と協議検討を進めてまいりたい。

健やかで安心して暮らせる村づくり

質問 子ども家庭センター設置の意図は。

答弁 榎屋村長
子どもと家庭の困りごとなど、複数の相談

先にまたがる問題などを、教育委員会等々と連携し、まとめて受け付ける体制を整えるため設置するものである。

安全・安心で快適な村づくり

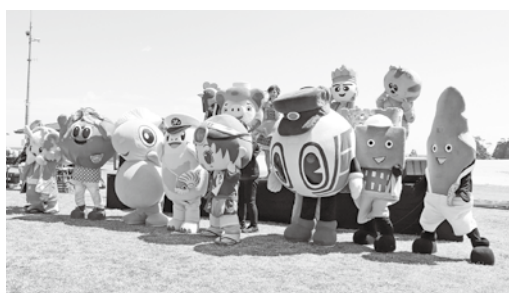
質問 上下水道の料金改定についての検討状況は。

答弁 榎屋村長
現在、担当課で詳細な財政分析など進めており、その後、審議会を立ち上げ、一年から一年半かけての諮問・答申を経て考えていきたい。

みんなで明日を拓く村づくり

質問 地域サロンの自主的イベント開催等活動に、助成金増額の可能性あるものか。

答弁 榎屋村長
必ず助成とは言えないが、色々な委員会活動等も含め、要望いただいた部分の中で、一環として



ゆるキャラまつり in キラウミ (5月2日)

答弁 榎屋村長
来訪者へのメリットとして提示する「普代の売り」は、思いとすれば、心豊かに暮らし、住む人々との繋がりがいいといったような、そういったことを大切にしていって、魅力を売りにしてゆきたい。

5/29 第3回臨時会

審議した案件は、令和8年度普代村一般会計補正予算（第2号）1議案を全員賛成で原案可決しました。そのほか、専決処分の報告2件の承認がありました。

◇令和7年度普代村一般会計補正予算（第14号）の専決処分に関し承認を求めること

補正額1,733万1千円を減額し、歳入歳出予算の総額を57億4,602万1千円とする。
各事業の実績確定による減額が主なもの。

◇普代村村税条例の一部を改正する条例の専決処分に関し承認を求めること

地方税法等の一部を改正する法律が公布されたことに伴い、普代村村税条例等の一部について所要の改正をする。

◇令和8年度普代村一般会計補正予算（第2号）

補正額433万5千円を追加し、歳入歳出予算の総額を55億8,109万7千円とする。
危険枯死木除去業務委託料の伐採本数及び作業単価の変更による増額、育英奨学資金貸付金の新規貸付対象者の増加による増額等が主なもの。

人事

選挙管理委員会 補充員4名を選出

5月29日、議会では欠員となっていた選挙管理委員会補充員4名を、指名推選により選出しました。

選出された方は次の方々です。（敬称略）

○選挙管理委員会補充員

- 第1順位 戸田加津子（堀内）
- 第2順位 長澤 邦寿（旭区）
- 第3順位 太田さなえ（太田名部）
- 第4順位 鬼束 拓哉（緑区）

（※補充員は、委員に欠員が生じたとき、第1順位から順に補充されます）
任期は、令和8年5月29日から令和10年12月29日までの2年7か月間です。

主な議会の動き

（3月定例会～6月定例会 諸報告より抜粋）

月 日	場 所	事 項	出 席 者
3月3日～9日	役 場	村議会第1回定例会	各議員
6日	役 場	議員全員協議会	各議員
7日	役 場	議会運営委員会	各委員、正路議長、古沼副議長
27日	役 場	議会運営委員会	各委員、正路議長、古沼副議長
		村議会第2回臨時会	各議員
		議員全員協議会	各議員
4月10日	役 場	議員全員協議会	各議員
17日	村 内	葛巻町議会行政視察研修	正副議長
5月16日	洋野町	洋野町合併二十周年記念式典	正路議長
18日	岩泉町	東部町村議会議長会定例総会	正路議長
10日	役 場	議会運営委員会	各委員、正路議長、古沼副議長

「一般質問」市政と質す

財政運営における 基本方針は

基金は安全性を最優先として財政基盤の
強化に努める 梶屋村長

齊藤 正明



基金の運用状況と 効率化は

質問 基金が現在のどの程度の規模でどのような目的で積み立てられているのか、また現在どのような方法で運用されているのか、基金の運用状況について伺う。

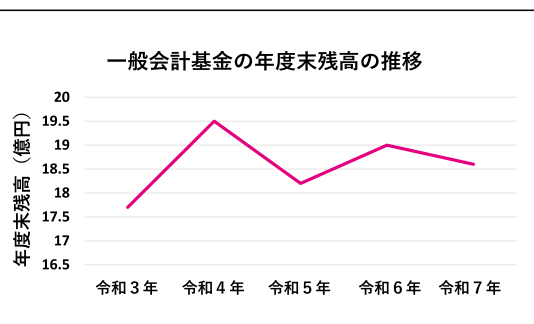
近年、新たに社会貢献への取り組みとして、地方自治体によるSDGS債の取り組みが注目されているが、本村もこのような債券の優先購入の検討を行っていくべきと考えるがどうか。

答弁 梶屋村長

令和7年度末の基金残高は、財政の調整機能の役割を担う財政調整基金及び村債管理基金が合わせて12億3,000万円余。その他特定目的基金として、義務教育学校等施設整備基金など、諸施設整備や各分野における特定の事業に充当することを目的に積み立てているものが10の基

金で、合わせて6億3,000万円。合計で18億6,000万円となっている。

基金の運用については、基本的な考え方としては、安全性を最優先としつつ、必要な時に使える流動性と、利息等の効率性のバランスを考慮して運用を行うこととしている。なお、令和7年度における基金の運用益は、基金全体で270万円余となっている。今後も基金の全体状況を見ながら資金運用を通じた社会貢献への取り組みにも意を用いて運用してまいりたい。



地方債の償還方式

質問 地方債は、現在総額でいくらあり、毎年どの程度返済しているのか。また、村民1人当たりの地方債残高はいくらとなっているのか。償還方式には、定時償還方式と満期一括償還方式があると聞が、現状と内容は。

答弁 梶屋村長

地方債残高は45億5,000万円であり、返済額は令和8年度から令和17年度までの10年間の平均で、年間3億8,000万円余となっている。村民1人当たりの地方債残高は約88万円である。また、借入金の償還方式は、本村では毎年一定額を返済する定時償還方式により償還を行っている。

今後の財政見通し

質問 今、円安などで電気料金やガソリンなどの燃料代をはじめ、ほとんど全てのものが物価高となり、家庭でも行政機関でも負担は大きなものとなってきている。物価高騰により、この先財政状況は厳しくなると予想されるが、本村の財政状況はどのように推移しているのか、そして今後の財政見通しは。

現在の財政状況については、県内の分析から比較的健全な状況にあるとされている。また、この先の財政状況の見込みは、令和7年度に作成した中期財政見通し計画では、令和12年度末の基金残高が、令和7年度末と比較して最大で7億5,000万円減少するという推計をしている。現状の10億円にできるだけ近づけるように、ふるさと納税の確保にも努めながら、国に対しても地方財政に対する支援強化を求め続けてまいりたい。

答弁 梶屋村長

現在の財政状況については、県内の分析から比較的健全な状況にあるとされている。また、この先の財政状況の見込みは、令和7年度に作成した中期財政見通し計画では、令和12年度末の基金残高が、令和7年度末と比較して最大で7億5,000万円減少するという推計をしている。現状の10億円にできるだけ近づけるように、ふるさと納税の確保にも努めながら、国に対しても地方財政に対する支援強化を求め続けてまいりたい。



V O I C E 未来予想図 Fudai

子どもたちの笑顔を守りたいです！

おおむら すみれ
大村 純玲さん (25)

4月から保健センターで保健師として勤務しております大村と申します。

地元である普代村に戻り、働くことができとても嬉しく思いつつ懐かしさを感じています。主な担当業務は母子保健です。子どもたちと触れ合うことが多い業務の中で、日々、子どもたちの笑顔や成長する姿に元気を貰いながら仕事に取り組んでいます。普代村の良さを生かしつつ、より安心して妊娠・出産・子育てができる環境づくりを目指し、一人ひとりに寄り添った支援を心掛けていきたいと思ひます。これからも地域の皆様との繋がりを大切にし、普代村の子どもたちが健やかに成長できるよう精一杯努めてまいります。どうぞよろしくお願いいたします。😊



一人ひとりが幸せなチーム「北緯40度の地球村ふだい」！

なかた けんた
中田 健太さん (44)

4月から役場政策推進室で地方創生や地域おこし協力隊を担当しております。高校卒業後、村外で働いておりましたが、26年ぶりに普代に帰ってきました。

村では令和8年度から令和12年度までを期間とする第6次総合発展計画がスタートしました。地域の担い手確保や人口減少を緩やかにするため、村の魅力発信、交流・定住人口拡大の取組を着実に進めていきたいと考えております。村の将来像に掲げる「村民一人ひとりが幸せを感じられる村づくり」を目指し、村民の皆さまの声を聴いて仕事をしていきますのでよろしくお願いしします。😊



古沼 和也 広報委員

大村さん、地元に戻って来てくれてありがとうございます。子どもたちの笑顔に支えられながら仕事をしているその姿勢がとても素敵です。

ふるさとへの想いを大切にしながら、子どもたちの健康のために、これからも地域と一緒に歩んでいってください。応援しています。

広報委員からの返信



大上 智 広報委員長

26年ぶりの普代の印象はいかがですか？

第6次総合発展計画スタートにあたり、県より政策推進室に派遣されました中田さんの人口減少対策施策に、大いに期待するところでございます。

これまでの経験を、村民のウェルビーイング(心身ともに満足)実現の村づくりに活かしてくれるようよろしくお願いいたします。

委員	副委員長	委員長	議長	発行責任者
古沼和也	松葉明	齊藤正智	大上正敏	議会広報常任委員会

最近三陸沖を震源とする大きな地震が頻発しています。大きな津波が来ないことを願ひながら、有事の備えは万全に。今年の夏も暑さが厳しくなりそうです。無理をしないで体調に気をつけてこの夏を乗り切りましょう。(松葉明人)

今回の6月定例会では、生活に身近な課題や、今後の普代村の在り方について、活発な議論が交わされました。定例会で決まった議案は、いずれも村民生活に直結する極めて大事なものです。お気づきの点やご意見がありましたら、どうぞ議会までお知らせください。(齊藤正明)

あ
と
が
き



今回の「議会だより」は、いかがでしたか。皆さんの声をお待ちしています。一緒に考えよう この村のカタチ。

